

## 平成29年度各部の重点課題の取組結果

部名	こども未来部
部長名	石橋 敬三

### 【基本方針】

「安心して子供を産み、育てることができる柏原市」の実現に向け、子育て環境の充実を図るため、親の就労等による保育ニーズへの対応、核家族化の進行等による子育てへの不安や負担感、孤立感に対する支援の充実などに取り組みます。

そのため、少子化の進展に影響を受けず増え続ける保育ニーズに対応し、併せて、園児の減少が進行する公立幼稚園の問題に対応するため、認定こども園の開設に向けた取り組みを進めます。

また、放課後児童会については、引き続き、待機児童ゼロの継続に努め、保育所については、保育士の確保等に努め、待機児童の解消を目指します。

(平成29年8月1日から「健康福祉部」と統合)

### 【達成度について】

A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)

B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)

C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)

D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)

E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	子育て支援の充実	A
2	待機児童の解消	B

部名	こども未来部
----	--------

重点課題 1	子育て支援の充実
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市の子育て環境の充実化を図るため認定こども園の開設に向けた取り組みを進めます。
---------------------	---

活動目標
幼保一元化による認定こども園開設のための実施計画(案)を公表し、広く市民の意見を伺います。
公立の幼稚園教諭と保育士との人事交流を年間を通じて行います。

具体的な取組実績
「公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画【第1期】(案)」を公表し、地域及び保護者説明会を計6回開催するとともにパブリックコメントによる意見募集を実施しました。
幼稚園教諭1名が公立保育所で、また保育士1名が公立幼稚園で勤務する人事交流を行うとともに人事交流者を中心とした保育者研修を実施しました。また、幼稚園教諭と保育士との就労環境の違いを解消するため給料表の統一を行いました。

達成目標
幼保一元化による認定こども園開設に向けた実施計画を策定します。
認定こども園の運営に必要な知識及び能力を有する人材の育成を図るとともに、公立幼稚園及び保育所の活性化を図ります。

達成状況	達成度
「公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画【第1期】」を平成29年11月に策定しました。	A 達成
年間を通じた人事交流者の配置により幼稚園、保育所の施設運営についての知識、技能を有する人材の育成を図ることができました。また、人事交流者を中心とした保育研修を実施し互いの施設についての理解を深めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>認定こども園開設に向けた具体的な計画(案)を公表し、市民の意見を伺う機会をしっかりと設けたうえで平成29年11月に実施計画を策定することができました。今後は、平成32年4月開園に向け、計画に基づいた施設整備を着実に進めます。</p> <p>また、人事交流、保育者研修等により幼稚園教諭と保育士が互いの施設についての理解を深めるとともに、協働して就学前児童に対する教育・保育について研究を行い、保育者としての資質向上を図りました。加えて、給料表を統一し幼稚園・保育所間における環境を整えるなど人材配置の柔軟化を進めたことにより、次年度以降、さらに交流を充実させ、就学前児童に対する教育・保育の総合的な質の向上に取り組む土台作りができたと考えます。</p>

部名	こども未来部
----	--------

重点課題 2	待機児童の解消
--------	---------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	保護者が安心して子どもを預け、就労を継続できるようにします。
---------------------	--------------------------------

活動目標
保育士を確保して、受入枠の拡大を図ります。
必要に応じ教室及び指導員を確保して、安定した放課後児童会運営を図ります。

具体的な取組実績
深刻な保育士不足のため、本年度中の嘱託及びアルバイト保育士は十分確保できなかったが、次年度に向け保育士を確保するために、3年ぶりに正規保育士を採用するとともに、平成30年度からの嘱託保育士の給与改善を行いました。
放課後児童会を希望する全ての児童を受け入れるため、必要な教室や指導員を確保しました。また、現在、待機児童こそ出していないものの指導員確保に余裕はなく、今後の安定した確保のため必要な処遇改善を行いました。

達成目標
保育所の待機児童の解消を図ります。
放課後児童会の待機児童ゼロを継続します。

達成状況	達成度
保育士確保については、本年度は保育士数の増員を含め余裕のある確保ができず、目標には及びませんでした。次年度での保育士確保に向けた仕組みや環境はしっかり整えることができました。	B 概ね達成
機児童児童0を継続できました。	A 達成

総合評価・総括
待機児童の解消には保育士の確保は必須の課題であります。深刻な保育士不足の状況の中で、本年度中の確保については満足できる結果ではありませんでした。一方、次年度に向けた体制作りについては、3年ぶりとなる正職員の採用、嘱託保育士の確保強化のための処遇改善など大幅に見直し、保育士の安定確保のための環境整備を行うことができました。また、放課後児童会については、待機児童こそ出していないものの、やはり指導員確保に余裕はなく、今後の安定した確保のため必要な処遇改善を行うとともに、入会児童の増に対応できるよう、児童会室について、学校・教育委員会の協力のもと、必要数を確保することができました。